

令和3年度事業報告 【令和3年4月1日～令和4年3月31日】

1 主な事業の概要

スギ・ヒノキの人工林が本格的な利用期を迎え、主伐が増加している中で、再造林や下刈り等の適切な実施により森林の多面的な機能を維持しつつ「林業の成長産業化」を実現していくためには、林業労働力の安定的確保と経営基盤の充実した林業事業体の育成が不可欠である。こうした状況を踏まえ、令和3年度は、林業への新規就業の促進や就労条件の改善支援、技術・技能の向上のための各種研修等の実施など林業従事者の確保・育成対策と「意欲と能力のある林業経営者」等を対象とした雇用の拡大や雇用管理改善の支援など林業事業体の育成対策を一体的に推進した。

〔林業担い手育成基金事業〕

(1) 林業就労改善推進事業

林業就業者の就労条件の改善や新規就業の促進等を図るため、社会保険、退職金共済及び任意労災保険の掛金助成を始めとする各種の助成等を行った。

(2) 林業就業者定着促進事業

林業就業者の定着を図るため、林業の中で最も苛酷な下刈作業に従事する者に対する支援を行った。

(3) 新規林業就業者確保対策事業

木材需要の増加が見込まれる中、伐採や再造林、下刈等の増加に対応し、担い手の確保・育成や労働環境の整備、生産性の向上を一体的に進め、林業への新規就業の促進と定着化を図るため、林業事業体の経営者やチームリーダー等を対象に、人材育成や経営意識改革に向けた研修として「林業事業体経営戦略セミナー」を実施した。

- ・ 開催日 令和3年11月11日（木）

- ・ 場 所 宝山ホール 第3会議室

(演題) 第一部 「スマート林業から林業DXへ」

(講師) 鹿児島大学農学部教授 寺岡 行雄 氏

第二部 「林業事業体に求められる人材の確保・定着・育成の課題」

(講師) 株式会社鹿児島総合研究所代表取締役 新永智士 氏

- ・ 受講者 16事業体・20名

(4) 事業体育成対策事業（新規：県受託事業）

林業経営者管理制度における森林整備の中核的担い手である「意欲と能力のある林業経営者」が実施する雇用拡大等の取組を支援し、経営基盤の強化を図った。

- ・ 助成事業体数 14 事業体
- ・ 内容 雇用の拡大 2 事業体
 - ホームページの作成，求人広告の掲載
 - 新規採用者への空調服・防護服，チェーンソー等資機材の整備
 - 軽ワゴン・軽トラックのリース
- 雇用管理の改善 5 事業体
 - 既雇用者への空調服・防護服の整備
 - 〃 エピペンの整備
- 作業の効率化 10 事業体
 - 森林測量管理システムの整備，ドローンの購入，高性能
 - 林業機械リース料(グラップル・フォワーダ・プロセッサ等)

(5) 林業担い手育成事業（高度技能者養成研修）

林業の成長産業化に向けた取組を着実に推進するため，地理空間情報や ICT（情報処理および通信技術を利用した産業やサービス）等の先端技術を駆使し，生産性や安全性の飛躍的な向上を図り，需要に応じた高度な木材生産を可能とするスマート林業を推進していくため，高度技能者養成研修を実施した。

- ・ 開催日 令和 3 年 11 月 29 日（月）
 - 「ICT 等を活用した林業イノベーション」
 - ・ ドローンに関する基礎知識
 - ・ ドローンを活用した事例
 - ・ ICT を活用した森林境界明確化
- ・ 場 所 さえずりの森（始良市加治木町）
- ・ 受講者 14 事業体・23 名

(6) 特認事業（かごしま林業の魅力発信ツアー）

県内の実業系高校の 1 年生を対象に，林業の仕事や魅力について理解を深めてもらい，地元での林業就業を促進するため，以下の 5 校においてバスツアーを実施した。

- ① 令和 3 年 11 月 22 日（月） 実施校：鹿屋工業高校
- ② 令和 3 年 12 月 1 日（水） 実施校：伊佐農林高校
- ③ 令和 3 年 12 月 3 日（金） 実施校：福山高校

- ④ 令和3年12月 6日(月) 実施校：鹿屋農業高校
- ⑤ 令和3年12月 15日(水) 実施校：南大隅高校

<内容>・森林組合の概要説明

- ・現場作業の説明と実演(チェーンソー→グラブプル→プロセッサ→フォワーダ)
- ・大型製材所の視察(山佐木材, 外山木材, メックインダストリー)

(7) 専任アドバイザー派遣事業

高性能林業機械作業の効率化に資するため、専任アドバイザーによる林業事業体への現地指導を行った。

- ・事業体数 21 事業体, 指導日数 171.5 日, 対象箇所数 209 箇所

〔 林業労働力確保支援センター事業 〕

(1) 森の研修館かごしま運営管理事業(指定管理：県受託事業)

「森の研修館かごしま」の指定管理者として、同施設の適切な運営・管理に努めるとともに、林業への就業希望者を対象とした体験学習及び特別教育講習や、労働安全衛生法に基づく技能講習等を実施した。

- ・「鹿児島スーパーきこり塾」推進事業(鹿児島きこり塾) 受講生
入門 4人, 専門 5人 (研修日数 延べ14日)
- ・「鹿児島スーパーきこり塾」推進事業(技能講習・特別教育等) 受講生
140人 (研修日数 延べ42日)

(2) 新規林業就業者確保対策事業(県受託事業)

林業への新規就業の促進を図るため、関係機関と連携しながら新規学卒者やU・Iターン希望者等を対象に、林業のPRや就業支援フェアの開催等を行うほか、WEBサイトを活用し、林業の魅力やPRする情報や林業就業に役立つ情報を発信した。

(3) 「鹿児島スーパーきこり塾」推進事業(新規：県受託事業)

高校生及び保護者等に林業の仕事や魅力について理解を深めてもらい、就業意識を高めるため、林業関係者との交流の場となるイベントを開催した。

また、林業就業希望者や林科系高校生を対象に、就業前におけるインターンシップとして県内の林業事業体での実践的な研修を実施するとともに、高性能林業機械の資格取得者の操作技術の習熟等を図るための研修等を実施した。

- ・ 高校生地元定着促進イベント 2回（伊佐農林高校，鹿屋農業高校）
- ・ インターンシップ 一般 1人（研修日数 3日）
高校生 11人（研修日数 7日）
- ・ 実践研修 12人（研修日数 延べ6日）

(4) 事業体育成対策事業（新規：県受託事業）

「意欲と能力のある林業経営者」の能力等の維持向上及び「意欲と能力のある林業経営者」を目指す林業事業体の経営改善，雇用管理の改善等を図るため，林業事業体への個別指導を実施した。

- ・ 巡回指導等 延べ96回
- ・ 経営診断 5回

(5) 「緑の雇用」事業（全森連受託事業）

新規就業者の技能・技術の向上を図るため，各種研修を段階的かつ体系的に実施した。

- ・ フォレストワーカー研修の受講生 81人（研修日数 延べ78日）
- ・ フォレストリーダー研修の受講生 23人（研修日数 15日）

(6) 森林ボランティア技術研修（みどりの基金受託事業）

森林整備の担い手として森林ボランティアの養成を図るため，刈払機及びチェーンソーの技術研修を実施した。

- ・ 刈払機 65人，チェーンソー 43人（研修日数 延べ13日）

2 主な庶務事項

年月日	事項	内容
令和3年 5月17日	監事監査	監事による監査
5月25日	第1回 定時理事会 (決議の省略)	(議案) (1) 令和2年度事業報告、貸借対照表、正味財産増減計算書及び付属明細書並びに財産目録の承認について (2) 特定資産の取扱いについて (3) 評議員会の招集について
6月21日	第1回 定時評議員会 (決議の省略)	(議案) (1) 令和2年度貸借対照表及び正味財産増減計算書並びに財産目録の承認について (2) 評議員及び役員を選任について (評議員) 鮫島 士郎 氏、野村輝明 氏、堂込清文 氏、岸尾 隆 氏、大柳 俊一 氏、小林孝幸 氏、松枝 英隆 氏を選任 (全員重任) (理事) 須藤 明裕 氏、橋本 欣也 氏、田中 光一 氏、永山 正一 氏、大重 健次氏 (以上重任)、石畑 博 氏、田坂 隆治 氏 (以上新任) を選任
6月22日	臨時理事会 (決議の省略)	(決議事項) 理事長、常務理事の選任について 須藤 明裕 氏を 理事長に選任 大重 健次 氏を 常務理事に選任
令和4年 3月30日	第2回 定時理事会	(議案) (1) 令和4年度における特定資産の一部処分(案)の承認について (2) 令和4年度事業計画及び正味財産増減予算書(案)の承認について (3) 資金調達及び設備投資の見込みについて

(注) 理事会、評議員会のうち「決議の省略」によるものの「年月日」は、決議があったとみなされた日